



院外版

## 令和元年 ご挨拶



昨年度には9月6日北海道胆振東部地震が起こり、全道がブラックアウトになるという前代未聞のことが起きました。亡くなられた方や被災された方々にお見舞い申し上げます。これを契機に道民の方々の防災への意識が高まってきました。小樽においても小樽市の防災計画が大幅に見直され、小樽協会病院においても今後何が起こるかわからないとの意識のもとBCP(事業継続計画)作成に向けて検討中です。話は長くなりましたが、平成最後の年度に37名という多くの新入職者を迎えることが出来たことは大変うれしく思います。北海道社会事業協会小樽病院を代表して心から歓迎いたします。

平成の30年をあらわす四文字熟語として東日本大震災の時の「天威無法」が選ばれました。本当に平成時代は想像できなかったような自然災害が多かったと思います。新しい年号は「令和」と決まり、新年号の一期生として、社会人としての第一歩を踏み出す方も多いと思いますが、早く当院に慣れるためには「挨拶」と仲間から「信頼」を得ることが大切です。初心を忘れず日々努力を重ねていただきたいと思います。

さて、北海道社会事業協会は、大正10年(1921年)に北海道庁内に設立されました。小樽病院は、大正14年(1925年)に小樽慈恵病院の経営を引き継ぐ形で創立されました。平成36年(2024年)には創立100周年を迎えることとなります。北海道社会事業協会の中では一番古く、由緒ある病院であることの自覚を持ってこれからの仕事にあたってほしいと思います。

小樽協会病院の理念は「患者様に寄り添い良質で心のかよったやさしい医療を目指します」です。また、当院の果たすべき役割は「高度急性期医療から在宅復帰支援に至るまで患者様に寄り添いチーム医療を推進し、包括医療を行う」と考えます。これからは、小樽後志医療圏において完結する医療をめざし、住民の皆様が住み慣れた町で安心して過ごせるようにその一翼を担えればと思います。

激動するこれからの医療界において当院が地域住民から信頼され必要とされる病院となるため、全職員が理念と果たすべき役割をしっかりと理解し、一致団結してそれぞれの業務を遂行して行くことが求められています。

一昨年も書きましたが、患者さんは心配や不安を抱えながら病院の玄関に入ります。その時、職員の笑顔がその心配や不安を取り除くことになり、病院を出入

れる時には笑顔でまた何かあったら来ようと思うように帰っていただくことが大切です。人はこれを「ディズニーランド化」と言います。東京ディズニーリゾートは昨年、過去最高の入場者数だったようですが、初めてディズニーリゾートに行かれた多くの方が不安と期待を抱いていたと思います。しかし帰る時には楽しかった、笑顔でまた来ようと思ったに違いありません。小樽病院も患者さんからそのように慕われる病院となっていきたいものです。そのためには職員の笑顔が必要であると考えます。

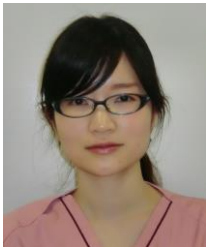
新入職員をはじめ、職員全員が心身ともに健康に留意し、これからも地域の人々に愛され信頼される小樽協会病院として、患者様に寄り添いながら創立 100 周年である 2014 年に向けて変革を遂げ成長していきます。今年 1 年もまたよろしくお願いいたします。

## 4月より着任しました医師の紹介



循環器科医師 前川 聡 (まえかわ さとし)  
東京  
北海道大学  
小樽の医療に貢献できるように頑張ります。  
よろしくお願い致します

1. 所属、名前
2. 出身地
3. 出身校
4. 一言



呼吸器内科医師 相澤 佐保里 (あいざわ さほり)  
札幌市  
日本大学  
不慣れで迷惑を多々おかけしてしまうとは存じますが、  
精一杯頑張ります。よろしくお願い致します。

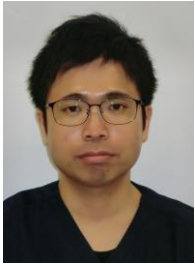


小児科医師 赤根 祐介 (あかね ゆうすけ)  
札幌市  
札幌医科大学  
よろしくお願い致します



外科医師 臼井 葉月 (うすい はつき)  
宮城県仙台市  
北海道大学  
小樽の医療に貢献できるようがんばります。  
よろしくお願い致します





臨床研修医 西森 貢隆 (にしもり みつたか)  
 札幌市  
 久留米大学  
 一日一日を大切に、日々学ぶ努力を  
 していきたいと思ひます。



臨床研修医 金 載憲 (きむ じえほん)  
 韓国 江原道原州市  
 慶北大学校、韓国科学技術院  
 一人前の医師になれるよう、日々全力で頑張ります



臨床研修医 宮野 史也 (みやの ふみや)  
 東京  
 北海道大学  
 憧れていた小樽という街で研修を始めることが出来てとても嬉しいです。  
 どうぞよろしくお願いいたします



臨床研修医 小泉 勝嗣 (こいずみ まさつぐ)  
 旭川市  
 北海道大学  
 一生懸命努力して、一つずつ出来ることを増やしていきたいと思ひます。  
 どうぞよろしくお願いいたします。

## 提携駐車場のご案内

平成 28 年 11 月 1 日 (火) より、小樽協会病院駐車場入り口向いにあります  
 『小樽市立病院駐車場』を、当院受診患者様も利用できるようになっていす。

### 【ご利用料金】

外来受診患者様	12 時間まで 100 円：以降 1 時間 100 円
お見舞い者	2 時間まで 100 円：以降 1 時間 100 円
一般の方	30 分につき 300 円



※ご利用の際は必ず「1 階会計窓口・受付窓口」に駐車券を提出し証印を受けて下さい。

20 時 00 分～翌 8 時 30 分は、地下 1 階守衛室にてお願いします。

(証印を受けなければ上記金額の適用を受けられません)

# 小樽市の不妊検査助成事業について

## ●不妊症について

不妊症は「生殖可能な年齢にあり正常な性生活を営んでいる夫婦が1年以上にわたって妊娠の成立をみないもの」と定義されます。妊娠を希望しているカップルにおいてなかなか妊娠に至らない場合、不妊症検査を受けることでその原因がわかることがあります。また負担の少ないことから適切な段階をふみ、夫婦で足並みをそろえて妊娠に向けた治療をはじめるときかけにもなります。



## ●不妊検査助成事業

2019年4月から小樽市では、妊娠を希望される方へ不妊検査にかかる費用の一部を助成する事業が始まりました。対象者は女性の場合40歳未満の方で、申請は1人1回です。男性不妊の検査であっても女性にかかる費用とは別に助成を受けられます。助成事業についての詳細は小樽市ホームページをご覧ください。

- ・小樽市不妊検査助成事業

<https://www.city.otaru.lg.jp/simin/iryo/kenko/otona/funinkensaiyosei.html>

## 小樽協会病院で行っている不妊検査

### 【血液検査】

保険の範囲内で行えるホルモン検査の他、自費負担になりますがオプションで行える検査内容についても説明し、十分ご理解いただいた上で検査を選択していただきます。

### 【超音波検査】

子宮および卵巣に不妊症の原因となる異常がないかを確認します。また順調に卵胞が発育し、排卵がされているかを定期的にチェックします。

### 【クラミジア抗原検査】

性感染症の一つで卵管不妊の原因となるクラミジアの有無を検査します。

### 【子宮卵管造影】

子宮→卵管→腹腔へと続く経路の間に通過障害がないかを検査します。通り道を広げるという治療的な効果もあると言われています。

### 【子宮頸がん検診】

治療方針に関わるため、子宮頸がんや頸部異形成の有無を細胞診で検査します。



検査や助成事業についてご不明なことがあれば、小樽協会病院産婦人科外来(0134-23-6234)または小樽市保健所(0134-22-3117)へご相談ください。

# ふれあい健康教室が開催されました



5月18日(土)に13回目となりました患者様向けのふれあい健康教室が開催されました。今回は、小児科医長 飯田純哉先生が「家庭、園、学校で食物アレルギーにどう対応していくか、一緒に考えましょう」をテーマに講演を行いました。会場内には小さな子供を連れた家族の姿も数組見られ、食物アレルギーへの関心が高いことが感じられました。講演の中では血液データでアレルギーを調べる事の限界や、当院で行われている食物経口負荷試験で、どれだけ食べるとアレルギーを起こすのか

を知る事で日常での食生活が大きく変わる事、アナフィラキシーショックを起こした際の「エピペン」の注射について、実際の事例を交えて説明されました。今後も市民の皆さんが関心のある話題をふれあい健康教室を継続していきたいと思えます。



## 患者家族向け「せん妄の予防と対策について」パンフレットのご紹介

先日参加した医療安全学会において岡山大学で作成された患者家族向けの「せん妄の予防と対策について」のパンフレットが紹介され、広く紹介しても良いとの事で紹介いたします。

せん妄は、医療機関においては転倒転落やチューブの事故抜去などのインシデントやアクシデントの要因となり、また家族にとっても「あれ、どうしちゃったんだろう？」と不安材料にもなります。家庭においても大変な思いをすることもありえますので、できるだけせん妄を起こさせないことが重要となります。このパンフレットはせん妄について患者ご家族が理解をするために作られました。ご興味があれば岡山大学病院のホームページをのぞいてみてください。(医療安全管理室 大塚)

《岡山大学病院のHP内で「せん妄」で検索

The pamphlet content includes:

- 患者さんとご家族ができること**
  - 朝から目覚めると口が乾いて喉が乾く感じがする
  - 目覚めると頭がぼんやりしている
  - 時計、カレンダーなどを見てもよく見えない
  - 簡単なテストや簡単な質問に答えられない
  - 急に不安や恐怖を感じる
  - 急に興奮し、大声で叫ぶ
  - 急に泣き出す
  - 急に眠くなる
- ご家族からよくある質問**
  - Q ツリツリの会話がないことを言っています。何をいっていいかわかりません。どうしたらいいですか?
  - Q ツリツリの会話がないのを聞いて、その場に居てもいいように思っています。どうしたらいいですか?
- せん妄の予防と対策について**
  - 「せん妄」は一見すると認知症と間違われやすいですが、また異なる病気です。注意深く観察することで「せん妄」を早期に発見し、解決することができます。せん妄の予防と対策について、一緒に考えていきましょう。
- Q「せん妄」とはどのような症状ですか?**
  - 意識が低い
  - 言葉の混乱
  - 物が見えにくい
  - 物音が聞こえにくい
  - 物音が聞こえすぎる
  - 物音が聞こえない
  - 物音が聞こえすぎる
  - 物音が聞こえない
  - 物音が聞こえすぎる
  - 物音が聞こえない
- Q「せん妄」になりやすいひとどどんな人?**
  - 高齢の方
  - 手術を受けた方
  - 手術や検査を受けたことがある方
  - 入院したことがある方
  - アルコールや薬を飲んでいる方

# 当院では風疹抗体検査・ワクチン接種をおすすめしています

## 風疹（ふうしん）について

風疹は、発熱や発疹、リンパ節の腫れなどの病状が現れる感染症です。

風疹に対する免疫が少ない妊婦さんが感染した場合、赤ちゃんの流産につながるほか、生まれてくる赤ちゃんがまれに目や耳、心臓などに病気を持つこと（先天性風疹症候群）があります。風疹は麻疹（はしか）と並んで子どもがかかる病気と考えがちですが、最近は成人の発症が多く、特に30-50代の男性が流行の発生源になっている場合が多いと言われています。

現に2018年の冬から全国的に風疹が流行し、小樽市でも2019年1-3月で15名の風疹罹患者がおりましたが、いずれも成人の発症であったと報告されています。

## 風疹ワクチン接種について

風疹抗体検査で抗体に対する免疫が少ないとわかった方へは、ご同意の上MRワクチン（麻疹・風疹2種混合ワクチン）の接種を受けていただくようおすすめしています。昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性（対象世代の男性）が風しんの定期予防接種（風疹の第5期の定期接種）の対象者となりました。この基準を満たす方は無料で接種が受けられます。それ以外の方では自己負担となります。



※風疹ワクチン接種前の抗体検査は必須なわけではありませんが、接種者の身体的・経済的負担、そして限りある医療資源としてのワクチンの効率的活用のために、まず抗体検査を受けられることが奨励されています。

ワクチン接種後の女性は2ヶ月の避妊が必要です。ただしワクチン接種後に妊娠とわかって、ワクチンを原因とした先天性感染例は報告されていないため、原則中絶の必要はありません。またワクチン接種後の男性の避妊は必要ありません。なお妊娠中に風疹抗体価が低いことがわかった、当院でご出産の産婦さんへは、産後入院中にご同意の上でワクチン接種をおすすめしております。



おわりに ～社会全体で防げる病気をしっかり防ぐために～

風疹は妊婦さんに限らず社会全体の心がけ次第で、感染や流行を防ぐことのできる病気です。この風疹検査やワクチンが、少しでも生まれてくる赤ちゃんにとって安全であるように、少しでも妊婦さんが安心して妊娠生活を過ごせるように、皆さんができることを考えるきっかけになってくれることを願っています。

### 当院で風疹抗体検査・ワクチン接種をお考えの方へ

当院で風疹抗体またはワクチン接種を希望される方は、事前予約が必要になります。検査希望 / ワクチン希望、男性 / 女性 などに応じて、産婦人科、健診科などで対応させていただきます。小樽協会病院医事課（Tel：0134-23-6234）までお電話で事前にお問い合わせください。

## 「医療安全への患者参加と患者安全に関する東京宣言」

医療の現場では日々いろいろなインシデントが発生する。患者の状態をアセスメントして対策を立てて実行するがなかなかインシデントはなくなる。よくある事例に「トイレが済んだらナースコールしてね」と声をかけその場を離れた後にコールしないで転倒したとか、いつも飲んでいる薬を配薬し忘れて飲ませなかったなどがある。一方、看護スタッフは自らの業務に加え、患者からのナースコールにも対応している。「忙しいからインシデントが起きても仕方がない」とは言わないけれど、ある意味“仕方がない”インシデントは存在すると日々思う。ではどうすればいいのだろうか？



チームステップス（Team STEPPS）をご存知の方も多いと思うが、チームステップスとはノンテクニカルスキルを磨くことでチーム内のより良いコミュニケーションを図り医療の安全性を高めるための手法のことあり、チームステップスのチームとは患者・患者家族を含めた医療にかかわるすべてのスタッフになる。患者さん自身がチームに加わることで治療に対する理解も進み、事故が起きる前に患者さん自身から何らかの指摘があるかもしれない。自身の転倒の可能性を理解していれば、必ずコールしてくれる患者さんも増えることだろう。

昨年4月に開催された「第3回閣僚級世界安全サミット」には44か国からの参加があった。そこで出された“患者安全に関する東京宣言”には「安全でない医療ケアや、避けうる有害事象は（中略）世界的に医療供給体制に対する重大な挑戦であることを認識することや「安全で質の高い医療の提供や医療サービスのあらゆる側面（政策の策定、組織レベル、意思決定、健康に関する教育、自己のケア）において患者及び患者家族が参加することの重要性を認識する」ことが盛り込まれた。

忙しい医療の現場で“猫の手”ならぬ“患者さんの目や耳”を借りて医療の安全を高める時代になったのだと思う。

医療安全管理室 大塚裕仁

### 編集後記

元号も令和になり、祝賀ムードの中大型連休も終わってしまいました。そんな中、痛ましい交通事故の報道が相次いでいます。運転される方も歩行される方もくれぐれも事故にはお気を付けください。（渡辺）

小樽協会病院広報誌“つゆくさ” NO.58

発行：小樽協会病院編集委員会

発行日：令和元年5月

発行人：柿木 滋夫

編集委員長：渡辺 直輝